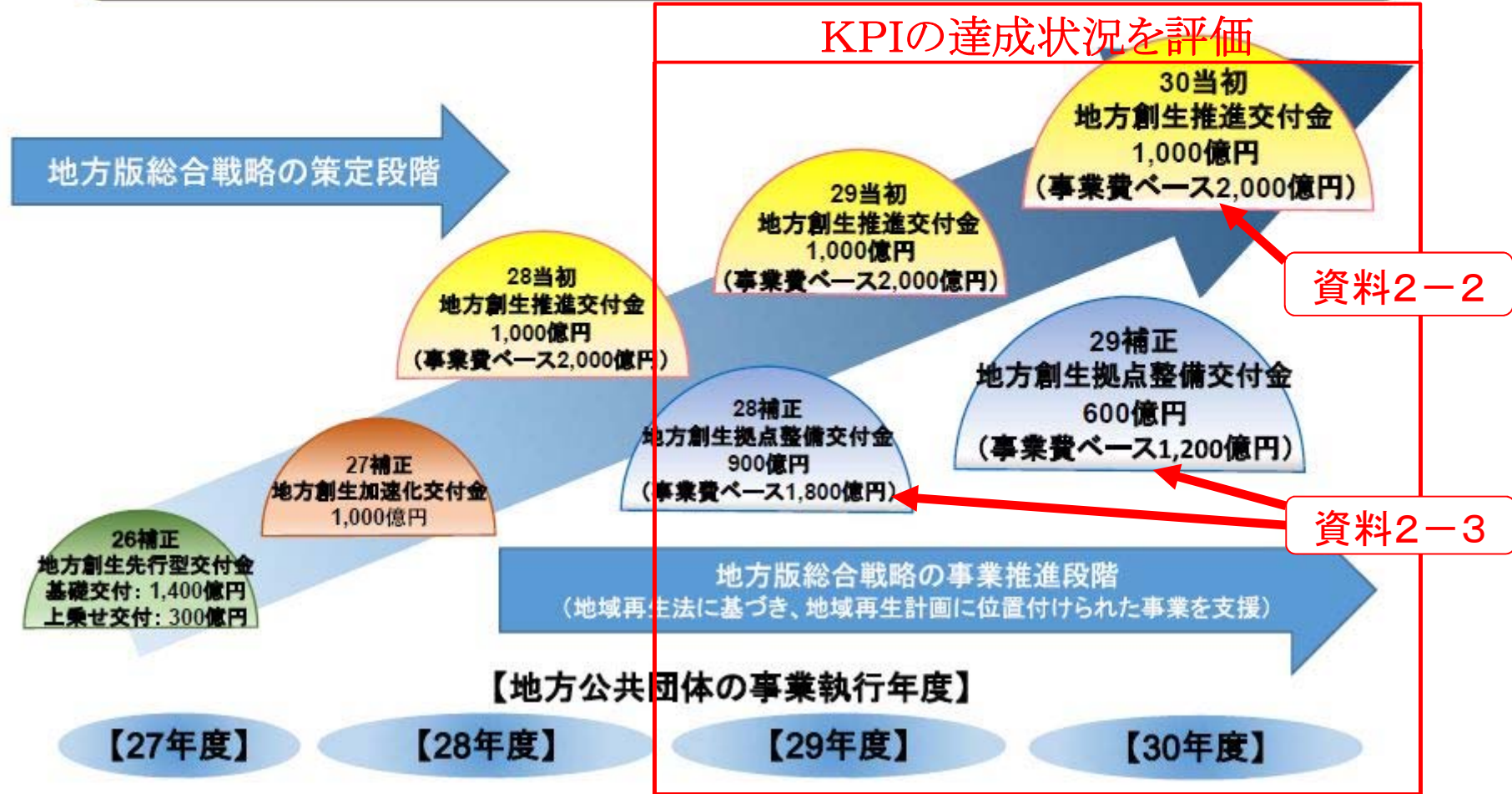


# 【内閣府】 地方創生関係交付金の概要（イメージ）

- 自治体の自主的・主体的な取組で、先導的なものを支援
- KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組を支援



地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

No	総合関連分野	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額(千円)			名称	単位	当初値 (事業開始時)	重要業績評価指標(KPI)						達成度合い			地方創生への効果 (自己評価)	今後の事業展開												
						2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)				2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	増分の累計	事業開始から2018年度まで (事業開始からH30年度まで) (H31.3時点)															
						交付決定額	交付決定額	交付決定額 (当初)				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		目標値(H30増分 まで累計) に対する 実績値(H30増分 まで累計) の達成度合い	(目標値未達の場合のみ)														
						実績額	実績額	実績額				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値		実績値(H28増分)	実績値(H29増分)			実績値(H30増分)	「③その他」を選択 した場合、その内 容										
1	①	やわらかBiz(IT×クリエティブ×若者・女性)創出事業	やわらかBiz(IT×クリエティブ×若者・女性)創出事業	H28   H32	デジタルコンテンツ産業の振興や新事業創出に取り組んできたことにより、佐賀市を中心にIT産業やクリエイティブ産業などの「やわらかBiz」の集積が進んでいる。 本事業は、さらなる若年層の定着及び新事業創出に繋げるため、事業者間の「相互交流」の促進、資金調達の多様化・経営支援に取り組む。 (構成事業) ・さがラボ構想推進事業費(地方創生推進交付金)【産業企画課】 ・やわらかBiz創出事業費(地方創生推進交付金)【産業企画課】 ・デザイン思考普及推進事業費(地方創生推進交付金)【産業企画課】	5,681	20,339	30,995	KPI①	人	0	0	2	5	17	53	+	53	+	5	①目標値を達成			②地方創生に相当程度効果があった  ③その他  ③その他	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)									
						5,681	17,150	27,642	KPI②	千円	0	0	30,000	76,600	245,650	750,000	+	750,000	+	76,600	④目標値の達成は5割未満	③その他	多くが事業構築中であり売上げを計上できる状況にならなかったため											
						0	0	8	20	34	50	+	50	+	20	②目標値の7割以上達成	③その他	対象案件が次年度の資金調達に持ち越しとなったため																
2	④	「外出(歩行)促進」×「公共交通利用促進」事業	「外出(歩行)促進」×「公共交通利用促進」事業	H28   H30	「外出促進」「歩行促進」「公共交通利用」に関して利便性を有する市町、公共交通事業者(バス、タクシー)、保険者、業主等の関係者が協議のうえ連携して取組を進めることにより、相乗効果を発現させ、地域の活性化、交流人口の増加、住民の健康増進、公共交通の品質向上を目指す。 (構成事業) ・ICT活用公共交通ネットワーク再生事業費【新幹線・地域交通課】	5,762	32,781	22,436	KPI①	人	1,000,211	1,001,000	1,002,000	1,003,000			+	789	+	1,000	+	1,000	+	2,789	+	2,789	①目標値を達成			②地方創生に相当程度効果があった  ⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))				
						2,001	24,050	9,395	KPI②	%	12.77	12.75	12.75	12.70			▲	0.02	+	0.00	▲	0.05	▲	0.07	▲	0.07	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	(検診受診率の上昇に伴うリスク保有者の発見率の増加のためと推測される)					
3	①・②	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくり事業	「農」を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくり事業	H28   H30	農業を中心とした人・仕事・地域・都市と農村との循環づくりにより、様々な交流を促進し、中山間地等の地域の活性化を図る。 特に県外の意欲ある若者や移住・定住・就業を希望している学生や社会人等をターゲットに、佐賀県の農業を知って体験してもらうことをきっかけとして、佐賀県における就農者を育てる。 (構成事業) ・さが農村ビジネス創出事業費【農政企画課】 ・さが農村ビジネスサポート事業費【農政企画課】 ・九州山口農商工連携6次産業化推進事業費【農政企画課】 ・地域で育てる新規就農者総合対策事業費【農産課】 ・佐賀段階「農」の担い手育成プログラム【農産課】 ・トレーニングファーム整備推進事業費【農産課】	3,148	60,446	64,989	KPI①	人	124	299	474	654	834	1,014	+	175	+	175	+	180	+	180	+	180	+	890	+	530	②目標値の7割以上達成	③その他	非農家出身の就農者は増加しているが、農家出身の就農者は伸び悩んでおり、既存農家の経営状況等が影響していると推測される。	②地方創生に相当程度効果があった  ②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等に発展させる)
						0	0	5	20	35	50	65	+	5	+	15	+	15	+	15	+	15	+	15	+	15	+	65	+	35	②目標値の7割以上達成	③その他	学生に対して佐賀県農業の魅力が十分に伝わらなかったためと推測される。	
						2,220	53,808	55,486	KPI③	人	0	0	4	8	12	16	+	0	+	4	+	4	+	4	+	4	+	4	+	16	+	8	①目標値を達成	
4	①・②	観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト	観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト【長崎県連携事業】	H28   H32	H28に日本遺産に認定された「日本の磁器のふるさと肥前～百花繚乱のやまも散歩～」のストーリーや焼き物文化をはじめとする地域の豊かな地域資源を活用し、地域の主体的・継続的な取組に繋がるコンテンツや新たな目玉事業の構築を進め、広域的な周遊対策や地域の活性化を推進する。 (構成事業) ・長崎県連携事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・日本遺産「肥前窯業園」登録推進・情報発信事業費(地方創生推進交付金)【文化課】 ・観光連携補助(長崎県連携事業費)【観光課】	0	32,565	32,500	KPI①	千円/人	28	29	30	30	31	31	+	1	+	1	+	1	+	1	+	0	+	3	+	2	①目標値を達成			②地方創生に相当程度効果があった  ①外的要因  ①外的要因
						0	0	731	754	777	802	826	+	62	+	23	+	23	+	25	+	24	+	157	+	108	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	(夏場の猛暑や台風・豪雨の影響が大きく、宿泊者数が伸び悩んだため)					
						0	31,484	32,500	KPI③	人	4,845	5,200	5,400	5,600	5,800	6,000	+	355	+	200	+	200	+	200	+	200	+	1,155	+	755	④目標値の達成は5割未満	①外的要因	(非正規雇用の労働者が増加傾向にあるため)	
5	①	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	プロフェッショナル人材戦略拠点事業	H29   H33	プロフェッショナル人材戦略マネージャーを配置し、潜在的な成長力を持つ県内中小企業の経営者に対し「攻めの経営」への転換を促しつつ、民間人材ビジネス事業者と連携し、中小企業者と都市部のプロフェッショナル人材とのマッチング支援を行う。 (構成事業) ・プロフェッショナル人材戦略拠点事業費(地方創生交付金)【産業企画課】	(37,018)	37,484	17,082	KPI①	件	15	(15)	25	35	45	55	65	+	10	+	10	+	10	+	10	+	50	+	20	①目標値を達成			①地方創生に非常に効果的であった  ①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	
						(32,379)	34,289	17,077	KPI②	件	151	(150)	301	451	601	751	901	+	150	+	150	+	150	+	150	+	150	+	750	+	300	①目標値を達成		

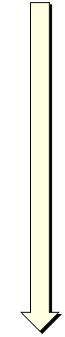
地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

No	総合職種分類	認定地域再生計画の名称	交付対象事業名	事業期間	事業概要	交付金額(千円)			名称	単位	当初値(事業開始時)	重要業績評価指標(KPI)						達成度合い		地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開									
						2016年度(H28年度)	2017年度(H29年度)	2018年度(H30年度)				2016年度(H28年度)	2017年度(H29年度)	2018年度(H30年度)	2019年度(R元年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	増分の累計	事業開始から2018年度まで(事業開始からH30年度まで)(H31.3時点)											
						交付決定額	交付決定額	交付決定額(当初)				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値(H30増分まで累計)			目標値(H30増分まで累計)	(目標値未達の場合のみ)							
						実績額	実績額	実績額				実績値(H28増分)	実績値(H29増分)	実績値(H30増分)	実績値(R元増分)	実績値(R2増分)	実績値(R3増分)	実績値(増分累計)	実績値(H30増分まで累計)			実績値(H30増分まで累計)	「③その他」を選択した場合、その内容							
6	②	観光交流県「さが」の実現に向けた環境整備等計画	観光交流県「さが」の実現に向けた環境整備等事業	H29   H31	地域ならではの魅力的な素材を活用した新たな観光資源の創出や、ターゲットを絞った情報発信、スポーツ合宿や映画・ロケの誘致に取り組むとともに、農林水産業、商工業など幅広い連携により、交流人口を拡大し、地域経済を継続的に発展させる。「交流県「さが」」を実現する。  (構成事業) ・観光資源創出事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・観光連盟補助(地方創生推進交付金)【観光課】(SAGAMONOGATARI-いなく県、佐賀) ・アート県庁事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・観光連盟補助(受入環境整備事業)【観光課】(多言語メニュー) ・観光地域づくり推進費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・海外作品誘致新規開拓事業費(地方創生推進交付金)【文化課】 ・航空利用の喚起による交流促進事業費(地方創生推進交付金)【空港課】	57,669	64,331	KPI①	県内の日本人延べ宿泊者数	人/年	2,801,000	2,829,000	2,857,000	2,885,000							④目標値の達成は5割未満	①外的要因	(天候不順(大雨・台風等)、宿泊施設の改修工事等)	③地方創生に効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)					
						30,880	62,556	KPI②	県内の外国人延べ宿泊者数	人/年	172,000	183,000	195,000	208,000											①目標値を達成					
7	①	さが藻類産業推進プロジェクト～広域連携バリューチェーン構築推進事業～	さが藻類産業推進プロジェクト～新資源開拓による地域産業イノベーション～【佐賀市連携事業】	H29   H33	産官学資金等の連携により二酸化炭素超高压抽出技術を確立・事業化し、原料生産から原料化・商品化まで県内で対応できる体制を整備する。 原料化・商品化にあたっては、佐賀県(工業技術センター)・大学・JCCが支援し、唐津市が整備する地域商社やJCC等が販路開拓といった出口支援を担う。  (構成事業) ・原料抽出機能整備調査検討事業費(地方創生推進交付金)【ものづくり産業課・コスメティック構想推進室】	2,000	105	KPI①	藻類を活用した新規事業件数【佐賀市】	件	0	1	11	26	41	61														
								KPI②	協会活動による商品開発件数【佐賀市】	件	0	3	18	38	58	88														
								KPI③	藻類産業による新規就業者数【佐賀市】	人	0	20	50	85	120	160														
								KPI④	佐賀市産藻類由来製品出荷額【佐賀市】	千円	0	700,000	1,000,000	1,500,000	2,500,000	5,000,000														
8	②	明治維新150年を契機とした観光誘客(佐賀×オランダ)地域づくり計画	明治維新150年を契機とした観光誘客(佐賀×オランダ)地域づくり事業	H29   H31	肥前さが幕末維新博覧会の開催を含む明治維新150年記念事業や、鹿児島県・山口県・高知県と共に結成した「平成の薩長土肥連合」によるPR活動等を活用し、これまで薩長土肥の中で埋もれがちであった肥前-佐賀県に光を当て、歴史観光を中心とした広域的な観光客の受け入れを促進する。 併せて、幕末維新期から近年でも深い繋がりがあるオランダと、新しいクリエイティブな連携・交流プロジェクトに取り組むことにより、2020年東京オリンピック・パラリンピックなど、未来に向けた交流の活性化に繋げていく。  (構成事業) ・国内誘客対策強化事業費(地方創生推進交付金)【観光課】 ・オランダハウス事業費(地方創生推進交付金)【政策課・国際課】 ・観光連盟補助【観光課】(薩長土肥協議会664千円、教育旅行対策887千円) ・維新博モメンタル展示整備事業費【肥前さが幕末維新博事務局】	57,621	87,500	KPI①	佐賀県内の延べ宿泊者数	千人泊	2,973	3,012	3,052	3,093																
						55,119	71,570	KPI②	佐賀県の文化的、歴史的な魅力・価値を通して、佐賀のことを誇りに思っている県民の割合	%	64.40	80.00	90.00	90.00																
9	④	自発の地域創生プロジェクト～さが「宝」の地域づくり～	自発の地域創生プロジェクト～さが「宝」の地域づくり～	H30   H32	自らの課題を自ら解決する地域とし、各地域固有の地域資源の魅力を生かした新しいチャレンジが生まれ実践される環境を作るため、自発の地域づくり支援、地域づくり活動の活性化、新たな地域づくりの取組の創出、地域のリーダーの育成等に取り組む。  (構成事業) ・自発の地域づくりさがブラッシュアップ事業費(推進交付金)【さが創生推進課】 ・地域活性化人材ネットワーク九州モデル構築事業費(推進交付金)【さが創生推進課】 ・さが地育(地域×子育て)推進事業費(推進交付金)【さが創生推進課】 ・SAGAローカリストアカデミー事業費【さが創生推進課】 ・それぞれの中山間チャレンジ事業費(地方創生推進交付金)【農政企画課】	26,117		KPI①	自発の地域づくりを進め、各地域の課題解決に向かって主体的な取組を継続している地域数	地域	40	50	60	60																
						21,859		KPI②	中山間地域における農業・農地を守る取組や農業所得を向上させる取組を県と市町との連携により支援し、取組を継続している地域数	地域	0	5	10	15																
10	①・④	ワーク・ライフ・バランス実現!佐賀県「働き方改革」プロジェクト	ワーク・ライフ・バランス実現!佐賀県「働き方改革」プロジェクト	H30   H32	長時間労働の是正により、誰もが働きやすい職場環境を実現し、女性の参画促進の重要性・必要性についての理解の促進と女性自身の意識・行動改革を図り、仕事と家庭・地域生活のバランスの取れたライフスタイルが実現できるように支援する。  (構成事業) ・ワーク・ライフ・バランス推進事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・仕事と子育ての両立支援推進事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・佐賀県子育て世代就労サポート事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・「働きたいけん」(体験)応援事業費(地方創生推進交付金)【産業人材課】 ・マイナス1歳からのイクガジ推進事業費(地方創生推進交付金)【男女参画・女性の活躍推進課】 ・女性の大活躍推進佐賀県会議(地方創生推進交付金)【男女参画・女性の活躍推進課】	32,519		KPI①	法定以上の仕事と育児の両立支援制度の導入事業所	事業所	60	70	80	90																
						32,026		KPI②	女性の大活躍推進佐賀県会議会員登録数	事業所	190	210	210	210																

地方創生推進交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

no	総合 職域 分類	認定地域再生計画 の名称	交付対象事業名	事業 期間	事業概要	交付金額(千円)			重要業績評価指標(KPI)										達成度合い				地方創生へ の効果 (自己評価)	今後の 事業展開						
						2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	名称	単位	当初値 (事業開始時)	2016年度 (H28年度 H29.3時点)	2017年度 (H29年度 H30.3時点)	2018年度 (H30年度 H31.3時点)	2019年度 (R元年度 R2.3時点)	2020年度 (R2年度 R3.3時点)	2021年度 (R3年度 R4.3時点)	増分の累計	事業開始から2018年度まで (事業開始からH30年度まで H31.3時点)		目標値未達の場合のみ	地方創生への効果 (自己評価)								
						交付決定額	交付決定額	交付決定額 (当初)				目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		目標値	目標値					目標値(H30増分 まで累計)	実績値(H30増分 まで累計)	達成度合い			
						実績額	実績額	実績額	実績値(H28増分)	実績値(H29増分)	実績値(H30増分)	実績値(R元増分)	実績値(R2増分)	実績値(R3増分)	実績値(増分累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計) の達成度合い	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計) の達成度合い	「③その他」を選択 した場合、その内 容										
11	①	海外市場における「SAGAブランド」の輸出促進プロジェクト	海外市場における「SAGAブランド」の輸出促進プロジェクト事業	H30   H32	高品質の県産品の販路を海外に拡大していくため、県内の農林水産物の生産者や食品加工事業者の輸出の取組を支援する。 海外市場における佐賀ブランドの確立、新たな国・地域への販路開拓、佐賀の酒のブランド確立に取り組む。  (構成事業) ・県産品販売支援事業費(地方創生推進交付金)【流通・通商課】	/	/	19,501	KPI①	日本酒の輸出量	リットル	124,550	130,000	135,000	140,000	15,450	15,450	15,450	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった	②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)									
12	①	佐賀県産業におけるAI・IoT等活用の推進計画	佐賀県AI・IoT等活用推進事業	H30   H32	県内企業の継続的な発展を促していくため、国内外でAI・IoT等の活用をリードするトップ級の教師人材や県内の機関・団体と連携し、県内企業の経営者及び実務管理者の意識改革を図るとともに、AI・IoT等のテクノロジーを活用できる人材の育成及び新たなサービス等の創出に向けた支援に取り組む。  (構成事業) ・AI・IoT活用推進事業費(推進交付金)【産業企画課】 ・AI・IoT活用推進事業費(投資)【産業企画課】	/	/	27,214	KPI①	新規のAI・IoT等の導入又は実証事業創出件数	件	0	5	20	50	50	50	50	①目標値を達成	①地方創生に非常に効果的であった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)									
地方創生推進交付金 計						14,591	300,905	425,289																						
						9,902	248,193	366,522																						

【事業効果(自己評価)】		
①地方創生に非常に効果的であった	例) 全てのKPIの目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合	4
②地方創生に相当程度効果があった	例) 一部のKPIの目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合	6
③地方創生に効果があった	例) KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合	2
④地方創生に対して効果がなかった	例) KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難い場合	0



12

【今後の事業展開】	
①事業の継続(計画通りに事業を継続する)	9
②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)	2
③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う(または、行った))	0
④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する(または、した))	0
⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する(または、した))	1

地方創生活点整備交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業概要	H28→H29	H29→H30	重要業績評価指標(KPI)										達成度合い		地方創生活点への効果(自己評価)	今後の事業展開									
						交付決定額(千円)	交付決定額(千円)	2016年度(H28年度)(H29.3時点)		2017年度(H29年度)(H30.3時点)		2018年度(H30年度)(H31.3時点)		2019年度(R元年度)(R2.3時点)		2020年度(R2年度)(R3.3時点)		2021年度(R3年度)(R4.3時点)				2022年度(R4年度)(R5.3時点)		事業開始から2018年度まで(事業開始からH30年度まで)(H31.3時点)						
						実績額	実績額	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			目標値	実績値	増分の累計	増分の累計	目標値(H30増分まで累計)に対する実績値(H30増分まで累計)の達成度合い	(目標値未達の場合のみ)「③その他」を選択した場合、その内容			
								実績値(H28増分)	実績値(H29増分)	実績値(H30増分)	実績値(R元増分)	実績値(R2増分)	実績値(R3増分)	実績値(R4増分)	実績値(R5増分)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)			実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)	実績値(H30増分まで累計)			
1	②	行政空間の集客(収益)施設化事業～佐賀県庁・佐賀城公園の賑わい・高い空間化事業～計画	H28   H32	行政空間の集客(収益)施設化事業～佐賀県庁・佐賀城公園の賑わい・高い空間化事業～計画	佐賀城周辺の公共空間を「使い手目線」の空間となるようリノベーション(再編集)するため、地下食堂整備事業、佐賀城公園整備事業、岡田三郎助アトリエ増築事業、県庁屋上展望ホール整備事業を実施する。	202,500	200,854	KPI①	万人	37	41	40	50	52	52							②目標値の7割以上達成	③その他	カフェのオープンが、当初はH29年10月の予定だったが、H30年9月まで遅れたため	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)				
								KPI②	社	0	0	0	1	3	8												①目標値を達成			
								KPI③	百万円	0.0	4.0	9.0	15.0	21.0	27.0													④目標値の達成は5割未満	③その他	広報量が少なかったことや、上映コンテンツ変更の影響等により、H30年度の来場者数が減少したため
2	②	観光・地域活動拠点の整備による重伝建地区「肥前浜宿」の観光動線の「面」化推進計画	H28   H32	観光・地域活動拠点の整備による重伝建地区「肥前浜宿」の観光動線の「面」化推進事業	佐賀県の西南部に位置する鹿島市の肥前浜宿地区を中心とした観光客の周遊性向上及び地域の担い手であるNPO等の活動の活性化を目的に、佐賀県が事業主体となり、既存施設を活用しながら、地域内外の交流拠点となる施設を整備する。	65,000	61,689	KPI①	千人/年	70.0	73.5	77.0	80.5	84.0	87.5							①目標値を達成			②地方創生に相当程度効果があった	⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する)				
								KPI②	千人/年	3,420.8	3,470.8	3,520.8	3,570.8	3,620.8	3,670.8												①目標値を達成			
								KPI③	百万円/年	2,721	2,761	2,801	2,841	2,881	2,921													①目標値を達成		
3	①	伊万里港へのポートセールス拠点整備による物流活性化～地域活性化計画	H28   H32	伊万里港へのポートセールス拠点整備による物流活性化～地域活性化事業	伊万里港にコンテナヤードセンターを整備し、港湾利用者にに対しコンテナヤードを効果的かつ継続的にポートセールスを行うことでコンテナ貨物取扱量の増加を図り、また、一般の県民・企業等の見学や視察に対しても当施設を活用して伊万里港の役割や海上輸送等の物流の仕組み等を知ってもらうことにより、伊万里港の賑わいはもとより、地域経済の活性化を図る。	18,000	16,900	KPI①	億円	16.48	18.90	19.98	21.60	22.88	24.30							②目標値の7割以上達成	③その他	コンテナヤードセンターの建設が遅れたことによる、整備効果の現れの遅れのため	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続(計画通りに事業を継続する)				
								KPI②	個	30,516	35,000	37,000	40,000	42,000	45,000													②目標値の7割以上達成	③その他	コンテナヤードセンターの建設が遅れたことによる、整備効果の現れの遅れのため
								KPI③	人	0	0	200	250	300	350													②目標値の7割以上達成	③その他	コンテナヤードセンターの建設が遅れたことによる、整備効果の現れの遅れのため
4	②	絶対的ロケーションを活かした公営キャンプ場のリニューアル・理ブランドンディング～稼げるキャンプ場を目指して～	H28   H32	絶対的ロケーションを活かした公営キャンプ場のリニューアル・理ブランドンディング～稼げるキャンプ場を目指して～	民間事業者の企画協力を得ながら、どこにでもあるキャンプ場のイメージから脱却、「九州最強の公営キャンプ場」を目指し、フィールドのリニューアルを行う。	97,854	87,852	KPI①	百万円	5	5	5	8	11	15							①目標値を達成			①地方創生に非常に効果的であった	⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する)				
								KPI②	人	4,215	4,215	4,215	5,000	6,000	7,000													①目標値を達成		



地方創生拠点整備交付金事業の重要業績評価指標(KPI)の達成状況

no	総合戦略関連分野	認定地域再生計画の名称	計画期間	拠点整備交付金交付対象事業名	事業概要	H28→H29	H29→H30	重要業績評価指標(KPI)										達成度合い			地方創生への効果(自己評価)	今後の事業展開									
						交付金額(千円)	交付金額(千円)	2016年度(H28年度)	2017年度(H29年度)	2018年度(H30年度)	2019年度(R元年度)	2020年度(R2年度)	2021年度(R3年度)	2022年度(R4年度)	増分の累計	事業開始から2018年度まで(事業開始からH30年度まで)(H31.3時点)		目標未達理由	「③その他」を選択した場合、その内容												
						交付決定額	交付決定額	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値		目標値	実績値			実績値			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
11	①・②	統合環境制御技術を導入した施設野菜産地の発展と人材育成プロジェクト	H30   H34	統合環境制御技術を導入した技術力向上・就業研修拠点整備事業計画	生産性革命と言える統合環境制御技術について県内に普及させる技術員の技術力向上を行うとともに、就業希望者に対してその技術習得から就業(農地・施設の確保など)までを切れ目なくサポートを行う技術力向上・就業研修拠点施設(トレーニングファーム)を整備する。	41,633	0	0	0	5	7	8	+8	+0	①目標値を達成																
								0	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
								0	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
11	①・②	統合環境制御技術を導入した施設野菜産地の発展と人材育成プロジェクト	H30   H34	統合環境制御技術を導入した技術力向上・就業研修拠点整備事業計画	生産性革命と言える統合環境制御技術について県内に普及させる技術員の技術力向上を行うとともに、就業希望者に対してその技術習得から就業(農地・施設の確保など)までを切れ目なくサポートを行う技術力向上・就業研修拠点施設(トレーニングファーム)を整備する。	35,966	103	176	176	176	176	176	+73	+73	②目標値の7割以上達成	③その他															
								166	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
								63	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
12	①	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」生産性革命プロジェクト	H30   H34	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」の生産性向上技術研究拠点整備事業	「佐賀牛」の生産基盤の強化を図るため、ICT・IoTツールを活用した誰にでも簡単にできる省力的な飼養管理技術等を新たに開発するための研究拠点となる施設を整備する。また、開発した技術を農業改良普及員や農業団体の技術員を通して生産現場に普及させることにより、肥育牛飼養農家が繁殖部門を導入して自ら肥育素牛を生産する繁殖肥育一貫経営の取組を進め、肥育素牛の安定確保による経営改善や牛のストレス軽減による肉質向上などを図り、農業所得の向上や地域における雇用の増大を実現させ、地域活性化につなげる。	223,901	58.40	58.40	61.00	64.00	67.00	70.00	+11.60	+0.00	①目標値を達成																
								63.00	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
								4.60	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
12	①	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」生産性革命プロジェクト	H30   H34	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」の生産性向上技術研究拠点整備事業	「佐賀牛」の生産基盤の強化を図るため、ICT・IoTツールを活用した誰にでも簡単にできる省力的な飼養管理技術等を新たに開発するための研究拠点となる施設を整備する。また、開発した技術を農業改良普及員や農業団体の技術員を通して生産現場に普及させることにより、肥育牛飼養農家が繁殖部門を導入して自ら肥育素牛を生産する繁殖肥育一貫経営の取組を進め、肥育素牛の安定確保による経営改善や牛のストレス軽減による肉質向上などを図り、農業所得の向上や地域における雇用の増大を実現させ、地域活性化につなげる。	223,901	0.00	0.00	0.00	10.00	15.00	20.00	+20.00	+0.00	①目標値を達成																
								0.00	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
								0.00	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
12	①	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」生産性革命プロジェクト	H30   H34	ICT・IoT等を活用した「佐賀牛」の生産性向上技術研究拠点整備事業	「佐賀牛」の生産基盤の強化を図るため、ICT・IoTツールを活用した誰にでも簡単にできる省力的な飼養管理技術等を新たに開発するための研究拠点となる施設を整備する。また、開発した技術を農業改良普及員や農業団体の技術員を通して生産現場に普及させることにより、肥育牛飼養農家が繁殖部門を導入して自ら肥育素牛を生産する繁殖肥育一貫経営の取組を進め、肥育素牛の安定確保による経営改善や牛のストレス軽減による肉質向上などを図り、農業所得の向上や地域における雇用の増大を実現させ、地域活性化につなげる。	223,901	25.80	25.80	26.52	27.24	27.96	28.68	+2.88	+0.00	①目標値を達成																
								28.60	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
								2.80	-	-	-	-													-	-	-	-	-	-	-
地方創生拠点整備交付金 計						632,543	315,851																								
						587,917	305,830																								

【事業効果(自己評価)】

①地方創生に非常に効果的であった	例)全てのKPIの目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合				1
②地方創生に相当程度効果があった	例)一部のKPIの目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合				5
③地方創生に効果があった	例)KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合				5
④地方創生に対して効果がなかった	例)KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言えない場合				0

【今後の事業展開】

①事業の継続(計画通りに事業を継続する)		9
②事業の発展(事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)		1
③事業の改善(事業の効果が不十分であったことから見直し(改善)を行う)		0
④事業の中止(継続的な事業実施を予定していたが中止する)		0
⑤事業の終了(当初予定通り事業を終了する)		2